

教育と療育を繋ぐ、放課後等デイ・児童発達支援  
～くらしの力を育てる療育～

## 湧気自然塾だより NO16

勝田郡奈義町荒内西 1050-7 7月30日  
電話 0868-20-1755 FAX0868-20-1766

すべての子ども達に豊かな育みを！！

子ども達の抱える様々な課題に挑戦しています

発達障害、不登校傾向、学力不振、コミュニケ

ーション力の育成等々・・・。ご相談ください。

# 暑い夏がやってきました！

あついあつい夏がやってきました。子ども達は、20日（火）より夏休みです。少しでも有意義に過ごすことができたらと、事前にお知らせしたように、地域の方々のお力をお借りして様々な学びを計画しました。まだ、始まったばかりですが、いろんな場面があり、子ども達はそれぞれに様々に感じとり学んでくれているようです。

## 那岐登山に挑戦しました



7月29日（木）、那岐山に登りました。今年初めての取組です。トレッキングガイド風の丘の西村さん、前原さんにガイドをお願いしました。また、観光センターの久保山さんも応援に駆けつけてくださいました。

この日の参加は8名の子ども達でした。9時に登山口で出発式をし、ガイドさんのお話を聞き出発しました。石ころや木の株、急坂などで結構歩きにくかったのですが、子ども達は一步ずつ頑張って登りました。頂上付近で雨が降り出し避難小屋での昼食となりました。雲の合間から豊沢や滝本付近を望むことができ、歓声が沸きました。班長さんも頑張り、グループ行動も上手にできていました。心に残る登山となりました。下山式では、「また、登りたい。」と全員が言っていました。2回目は8月21日（土）の予定です。



## 自然体験学習(川遊び)



左の写真は、芦田栄徳先生の自然体験講座です。事業所前の滝川に入って魚やエビ・カニ、水生昆虫、カエル等を観察しました。蛍の幼虫のえさになるカワニナなどもいました。大きな「どんこ」という魚が子ども達にはとても珍しかったようでした。石を動かしたり水草を踏み込んだりしながら夢中で追いかけて

いました。



最後に、芦田先生を囲んでお話を聞きました。先生のお話は、いつも自然の中で、懸命に生きる生き物との感動的な出会いを演出して下さいます。子ども達が初めて見る生き物も多かったです。また、せつかくとった魚やエビということで、お家に持って帰りたいたい子もいたようですが、芦田先生が、「いろんなことを勉強させてもらったので、最後は、自然に返してやろう。」と言われました。皆納得し放流しました。説得力のある一言でした。

# ソーメン流し



7月20日(火),夏休み第一日目はソーメン流しをしました。1週間ほど前から竹を切り準備を進めました。夏の雰囲気味わうのにはとても良い行事のようにも思います。しかし、今どきのことですから、衛生面への配慮、人が集まることへの配慮もとても大事になってきます。

いよいよ始まると、順番にとりにいき器用に箸やトングで掬い取り、自の器に入れていました。時々、グミやミニトマト、キュウリ、ミカンなども流れ、とても喜んでいました。マイ箸を使って美味しそうに食べていました。しばらくの間でしたが、涼を満喫してくれたことでしょう。この日にできなかった子ども達のために、もう2回実施する予定です。

## ロボットづくり(工作)



7月26日のエンジョイタイムは、工作でロボット作りに挑戦しました。ボランティアの方の指導で、紙コップやストロー、牛乳の箱、アイスクリームのカップ等々、様々な廃材で作りました。

このロボットのポイントは、ゴム動力で糸をひくとチョコチョコとかわいく動くところです。様々にアイデアを活かしながらロボットを完成させていきました。ゴム動力で動く仕掛けづくりがポイントでした。夏休みの工作の宿題にするといいかもかもしれません。次回は、レーシングカー作りです。

～コミュニケーションで繋がる子を育てるための上手な関わり方を考える～

## 明確なルールを設定しそれを守ったり、問題解決の方法を知る等、問題解決能力を身につけさせる。

子ども達は、その場の空気を読んで行動したり、暗黙のルールを理解をしたりすることがとても苦手です。従って、その時々子ども達に合わせて、子ども達にわかりやすい言葉でわかりやすいタイミングでルールを伝えることが欠かせません。その場合、できるだけ肯定的な言い方や、数字を使ったりして具体的にわかりやすく伝えることが大切だといわれています。(例:「走らない。」「走ってははいけません。」ではなく、「歩きましょう。」の方がよい。数字を使って「10カウントまで」とか、「質問は3回まで。」等というように。)

一方で、様々な困った場面に直面することもあるので、それぞれの困った場面で、どうしたらよいか、どう言ったらよいか等と適切な行動パターンを教え実行できるように指導することが大切です。その時に、できるだけ1つのパターンだけでは無く、複数のパターンを覚えておくことが大切だといわれています。思考パターンは、一対一であれば固定化しやすくなかなか広がりを持ちません。だからこそ、意図的にいろんなパターンを教えていく必要があります。



現代っ子は、失敗にとっても弱いといわれることがあります。生活場面の中で直接様々な体験や経験をしながら学ぶことが減ってきており、自信が持てないからかもしれません。そういうことも踏まえ、場面をとらえた指導がとても大切になってくるように思います。